



# みどり



## 108号『大腿骨頸部骨折』

2017年3月1日発行／編集責任者 田中 眞／毎月1日発行／群馬県藤岡市篠塚105-1  
<http://www.shinozuka-hp.or.jp/center/>

骨粗鬆症による骨の脆弱化や加齢による筋力の低下は骨折の原因となります。高齢者の骨折は回復、治癒に時間がかかり、日常生活動作に支障を生じる後遺症を残すことも少なくありません。なかでも大腿骨頸部骨折は、歩行機能に障害をきたす可能性が高い骨折です。

### 脆弱性骨折とは？

脆弱（ぜいじゃく）性骨折は、高齢者、とくに女性で、骨粗鬆症による骨密度の減少が原因となり起こる骨折です。非常に軽微な外傷（室内での尻もち、軽い打撲など）でも発生し、4カ所の好発部位が知られています（表）。

#### 表. 脆弱性骨折の好発部位

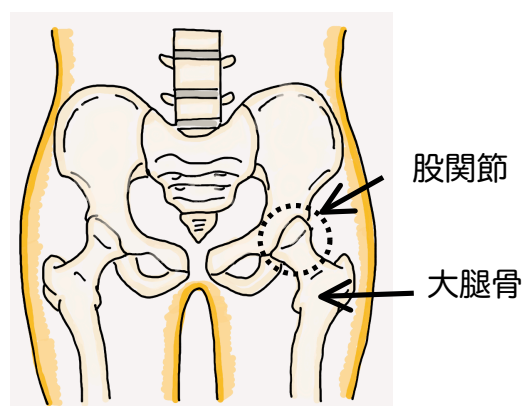
- 手首：橈骨遠位端骨折
- 腕の付け根：上腕骨頸部骨折
- 腰背部：脊椎圧迫骨折
- 太ももの付け根：大腿骨頸部骨折

なかでも、歩行障害や様々な合併症を引き起こす原因となるのが大腿骨頸部骨折です。

### 大腿骨頸部骨折とは？

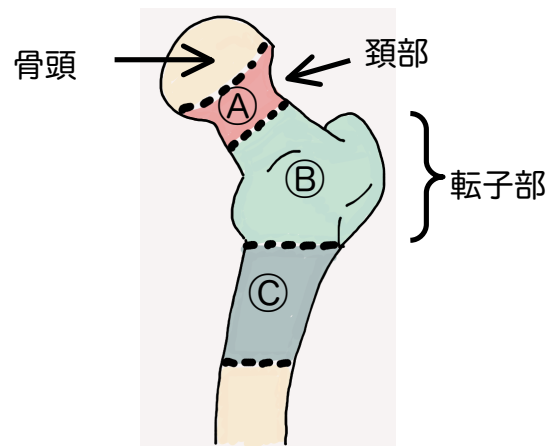
大腿骨は骨盤との間に股関節を構成している重要な骨です（図1）。大腿骨の一番上の部分は球形をしており「骨頭（こっとう）」と呼ばれます。そのすぐ下の細くなった部分は「頸部（けいぶ）」と呼ばれます。大腿骨の骨頭と頸部は股関節の内側に位置します。頸部はさらに、太く

図1. 股関節と大腿骨



出っ張った部分「転子部（てんしぶ）」につながります（図2）。転子部は股関節の外側に位置します。

図2. 大腿骨



“大腿骨頸部骨折”は頸部で骨折する「大腿骨頸部内側骨折」と、転子部およびその下部で骨折する「大腿骨頸部外側骨折」に分類されます。

## 内側骨折と外側骨折の違いは？

### 1) 大腿骨頸部内側骨折 (図 2-A)

大腿骨頸部での骨折です。脆弱性骨折の代表的な発生部位で、ちょっと脚を捻った程度でも発生します。脚の付け根が痛くなり、数日後に急に立つことも困難になり医療機関を受診したら骨折だった、という経過も珍しくありません。

### 2) 大腿骨頸部外側骨折 (図 2-B, C)

大腿骨転子部で骨折する「大腿骨転子部骨折」(図 2-B) と、転子部のさらに下で骨折する「大腿骨転子下 (てんしか) 骨折」(図 2-C) があります。これらは内側骨折と比べると、転倒や転落などの受傷機転が明確であることが多いです。

\* \* \*

大腿骨頸部は股関節内にあるため、骨の表面に外骨膜がありません。外骨膜は折れた骨が癒合する時に重要な役割を果たすため、大腿骨頸部での骨折は骨癒合がしにくくなります。また、大腿骨骨頭部および頸部は回旋動脈という細い動脈で栄養されています。頸部での骨折でこの動脈が損傷を受けると骨頭への血流障害が生じ、骨頭壊死 (こっとうえし) が起こりやすくなります。

## 大腿骨頸部骨折の治療は？

大腿骨頸部骨折により歩行機能をはじめする生活動作機能が著しく障害されます。したがって、早期の離床や歩行訓練などのリハビリを行う必要性が高いため、骨折部位の骨のずれ (転位) が少ない場合でも積極的に手術が検討されます。骨折に対する手術は骨折部位を固定する「骨接合術」が基本となりますが、大腿骨頸部骨折の手術方法は骨折部位によって異なります。

### 1) 大骨頸部内側骨折

上述のように骨癒合が得られにくく、血行障害により約 1/3 のケースで骨頭壊死が発生します。したがって、骨接合術ではなく骨頭を取り

替える「人口骨頭置換術」が選択されます。ただし、骨折部の転位が小さく血流が保たれている場合は骨接合術が選択されることもあります。

人口骨頭置換術では、骨折した骨を取り除き、大腿骨側に人口骨頭のステムという金属を挿入、その後ステムに人口骨頭を取り付けます。

### 2) 大腿骨頸部外側骨折

様々な固定器具 (スクリュー、プレート、髓内釘など) を使用し、骨折した骨頭と大腿骨を接合、固定する骨接合術が行われます。

\* \* \*

骨折による組織、血管の損傷や術中の出血のため、輸血を要する場合があります。

術後は早期の離床が目標となります。術後数日以内にリハビリが開始されます。

## 手術後の合併症は？

術後に生じる代表的な合併症として以下のような疾患が知られています。

### ①深部静脈血栓症

安静臥床中は下肢の静脈が鬱滞し、静脈内に血栓が形成されやすくなります。血栓が遊離して肺動脈を閉塞することにより呼吸不全をきたすことがあります。予防のために抗凝固薬の投与や弾性ストッキングの着用などが行われます。

### ②感染症

術後領域に感染症を起こすことがあります。予防的な抗菌薬の投与が行われます。

### ③偽関節 (ぎかんせつ)

骨接合術の術後に、骨の接合が不十分で関節のように動いてしまう状態をさします。再手術が検討されることがあります。

## 大腿骨頸部骨折の予防は？

骨粗鬆症の治療は大切ですが、骨密度が上昇すれば骨折しないわけではありません。転倒を予防するための環境、体力づくりも重要です。

(文責：金子 由夏)